



おもいで刻む はなび 夜空の大輪 2,500 発

②	①		
③	④	⑤	

①浴衣姿で夏のスナップ写真。会場のあちこちで“プチ撮影会”が行われていた／②写真を撮られていてもボールすくいに夢中／③各小中学校の演奏会。奏でられるリズムが大勢の観客を集めた／④恒例の町民総踊りに“小さな飛び入り参加”／⑤会場の外まで響き渡った広崎雨乞い太鼓

町 民グラウンドで8月22日「第43回益城町みんなの夏祭り」が開催された。

この祭りは、56企業や団体が後援・協賛。天候にも恵まれ、今年は約5万2千人の観客を集めた。出店が立ち並ぶ会場からは、焼きそばやとうもろこしの香ばしい匂い、リンゴ飴や綿菓子の甘い匂いが漂い、昔から変わらない「お祭りの匂い」で満たされていた。

会 場奥に特設されたイベントステージで商工会青年副部長、西嶋大輔さんの開催宣言が行われ、ひと夏の一大イベントが開幕した。その後ステージは、TVキャラクターショーや町内の小中学生による音楽祭のほか益城太鼓（広崎雨乞い太鼓）や、よさこい（肥後益城躍進隊）で盛り上がった。早い時間帯では親子連れや子ども

夏祭りのおすすめスポット 「夏祭りの夕日」

夏祭り会場から見える夕日。会場の照明がまだ灯されておらず、夕日の明かりで会場はすべて金色に。メーンの花火大会とは一味違った、自然ならではの風景を堪能できる。
(午後6時30分撮影)

